

まるもと ゆうこ  
丸本 裕子さん (広島県呉市出身)

2014 年度 2 次隊 青年海外協力隊

派遣国：タイ 職種：作業療法士

2015 年 10 月 11 日 (日) 中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 安心の介護 支援策探る

「サワディーカー(こんにちは)」。私が住んでいるのはタイの首都バンコクから北東 250 ㎞のナコーンラチャシマ県ムアン市。日本でタイと聞いたら「トムヤムクン!」「お寺!」とイメージするように、会話で私が日本人と分かると「桜!」「すし!」と返してくれる。日本からの企業進出が盛んで観光客も多いからだ。



地域の施設での高齢者サポート講習会

大都市バンコクでは海外にいることを忘れそうになるが、地方に出てみると自然がいっぱい。穏やかな時間が流れている。まぶしい日差し、あちこちに生えている南国植物、豊かな食資源、仏教と共に生活する心温かい人々。慣れないタイ語と文化の下、それらが私を支えてくれている。

私の活動先は、東北 4 県を管轄する健康促進センター。健康や環境、衛生に関する調査などのほか、併設の公立病院でプライマリ・ケア(初期医療)として地域医療を担っている。そこで作業療法士として患者さんにリハビリの指導をする。また同僚と地域の施設を訪問し、職員を対象にした高齢者サポートの講習会を手伝っている。

タイでは急速な高齢化が深刻である。しかし病院の平均在院日数はとても短く、日本の老人保健施設のような入居施設はごくわずか。高齢者や障害者は家族が自宅で支えるのが一般的である。介護者、要介護者ともに安心安全な生活を続けられるような援助をどう進めていくか、地域に入り込んで模索していきたいと考えている。